

## ④1 長野駅善光寺口駅前広場整備事業

受賞機関 長野市 都市整備部 都市計画課

## &lt;評価&gt;

北陸新幹線の開業にあたり、ハブ駅としての交通機能の充実と利用者の利便性向上を図るとともに、県都の玄関口にふさわしい新たな「かお」づくりのために行われた駅前広場整備事業。バスシェルターや歩行者専用デッキの設置、バリアフリーに配慮した歩行空間、歴史・伝統・自然を生かしたデザインなど、魅力ある駅前景観を形成した点が評価された。

## はじめに

長野駅善光寺口駅前広場では、平成9年の長野新幹線開業や翌年の長野オリンピック開催に伴い、暫定整備として、駅の橋上化や自由通路を整備した。

このたび、平成27年の北陸新幹線長野金沢間の延伸開業に合わせ、都市景観やユニバーサルデザインに配慮した交通結節点としての機能充実、新たなまちの顔としての駅前広場を整備した。

## 事業の概要・成果

従来の広場は地下部と地上部の行き来に、主に階段を利用していた。また、歩道のシェルターも限られた箇所への設置となっていた。今回の整備では、既存地下道を活用しながら、新たにエスカレーターとエレベーターを設置したり、バスロータリーを囲む形でシェルターを設置することにより、バリアフリーに配慮した歩行者空間を確保した。

新しい駅ビルの前には大庇・列柱を設置した。大庇はガラス屋根の下に木製ルーバーを設置し、列柱は鉄骨造の構造躯体の周りに木製の化粧部材を貼り付けている。木製部材は長野市内のスギの間伐材から製造した。



長野駅善光寺口駅前広場

大庇・列柱は善光寺のような歴史・伝統をもった、仏閣にあるゲート性や雄大な自然風景のようなスケール感を持たせた。このように広場全体を歴史・伝統・自然を活かしたデザインとすることにより、魅力ある駅前空間を形成できた。

## おわりに

広場が完成した平成27年は善光寺の御開帳があり、多くの観光客をお迎えすることができた。この場をお借りして、計画策定から施工にいたるまで、事業にご協力いただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。

## ④2 路面電車南北接続第1期事業

受賞機関 富山市

## &lt;評価&gt;

北陸新幹線の開業や平成29年度末完成予定の富山駅付近連続立体交差事業に合わせ、これまで分断されていた富山駅北側の富山ライトレールと富山駅南側の市内電車を富山駅の高架下で接続する事業。路面電車の新幹線駅高架下乗入れなどで交通結節機能が大幅に強化された点や、壁面にアートガラスを用いた高質なおもてなし空間を創出した点が評価された。

## はじめに

本市では、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めている。平成18年には富山港線をLRT化し、平成21年には市内電車の路線を延伸し、環状運行を開始した。

本事業では、新幹線高架下から既存の市内電車までの区間に軌道を整備し、北陸新幹線の開業に併せて運行を開始した。

## 事業の概要・成果

本事業は、新幹線高架下から既存の市内電車までの区間約160mの軌道を整備するものである。制振軌道やバリアフリー対応の停留場等、誰もが使いやすい施設整備を行った。

また、新幹線高架下に平面路面電車が乗り入れるという世界でも類まれな交通結節点となり、新幹線、鉄道、バス等のあらゆる交通機関との乗り換え利便性が格段に向上した。

事業スキームは、本市が施設整備を行い、富山地方鉄道株式会社が運行を行う上下分離方式を採用した。民間活力を活かしながら、新規路線の運行を実現し、長期的に安定して事業を行うことを可能とした。



新幹線高架下の富山駅停留場

高架下の停留場には、アートガラスを用い富山の自然を表現した壁面「トランジット・ライティング・ウォール」を整備し、停留場を高質なおもてなし空間として演出した。

開業後は、市内電車の利用者が約1割増加した。定期的利用者も増えており、新幹線利用者のみならず、市民の移動手段としても一段とその役割を増している。

## おわりに

現在、第2期事業として、富山駅北側の富山ライトレールの路線を延伸し、市内電車と接続する事業を進めている。これが完成すると南北の路面電車の直通運転も予定されており、ますます富山駅の交通結節機能が強化される。

賛助会員 佐藤工業(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)